



## 中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

省エネ効果が高い機器及び設備への更新の一部を補助します。

【補助対象設備】高効率照明、高効率空調、産業ヒートポンプ、業務用給湯器、高性能ボイラ、低炭素工業炉、変圧器、冷凍冷蔵庫、FEMSのうち、一定の性能基準を満たすもの。

【公募期間】1次公募：平成28年3月22日(火)～4月22日(金) 17時必着  
2次公募：未定  
※1次公募の交付決定は、6月上旬に一括して行う予定です。

【補助率】1/3以内

【補助金額】上限：1事業者あたり1億円

下限：1事業所あたり50万円（中小企業者及び個人事業主の場合は30万円）

※1事業者は3事業所まで申請出来ます。同一事業所は1回のみ申請となります。

【補助対象経費】設備費用のみ

【予算額】442.0億円

【公募要領等】以下のURLからご確認ください

<https://sii.or.jp/kakumeitoushi27r/shinsei/note.html>

【問い合わせ先】一般社団法人環境共創イニシアチブ

(ナビダイヤル) 0570-783-755

受付時間：9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く）



<担当：エネルギー対策課>

## 電力の小売全面自由化スタート間近！よくあるご質問

Q. 電力小売全面自由化って、どういうことですか？

A. これまで家庭向けの電気は、各地域を供給区域とする電力会社だけが販売しており、電気をどの会社から買うか選択はできませんでした。2016年（平成28年）4月1日以降は、家庭向けの電気の小売業への新規参入が全面的に自由化されることにより、家庭も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになります。

Q. 私の住んでいる地域で、新たに電気を買うことができるようになる会社を教えてください。

A. 北海道を「供給予定地域」に含んでいる小売電気事業者は、以下のURLをご参照ください。（小売電気事業者が任意に提供した情報です。）個別には、各会社にお問い合わせ下さい。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokse/20160115/index.htm>

Q. 2016年（平成28年）4月まで何もしないと、電気の供給は止まってしまうのでしょうか？

A. 現在、供給を受けている電力会社から引き続き、今までどおり電気が供給されますので、ご安心下さい。

Q. 小売電気事業者との間でトラブルが生じた場合、どこに相談すればよいのですか？

A. 小売電気事業者に対しては消費者からの苦情や問合せへの対応義務を課しており、適切に対応することが求められています。まずは小売電気事業者へお問合せください。

なお、電力取引監視等委員会も相談窓口を設置し、消費者の皆様が小売供給契約を結ぶ際のトラブル等のご相談に応じてまいります。

電力取引監視等委員会 相談窓口

TEL:03-3501-5725（直通）（受付時間 9:30～12:00、13:00～18:30）

E-mail: [dentorii@meti.go.jp](mailto:dentorii@meti.go.jp)

<担当：電力取引監視室>



## 引き続き 今冬の節電のお願い

3月31日(木)までの  
平日8:00-21:00

※「数値目標なしの節電」ですが、一つの目安として定着節電として見込まれている2010年度最大電力比▲5.9%を参考としてください。

2015年度冬季の節電をお願いしている期間があとわずかとなりました。皆様の節電のご協力等により北海道の電力需給は、これまでのところ安定を維持しております。他方、大規模な発電所のトラブル等が発生した場合、安定供給ができない可能性が懸念されます。

政府、電力会社においては、引き続き供給力の確保に最大限の努力をして参ります。冬の北海道において安定的に電気を供給するため、大変ご迷惑をおかけしますが、引き続き無理のない範囲での節電のご協力をお願い申し上げます。

<担当：総合エネルギー広報室>

「節電・省エネ事例“虎の巻”Vol.3」を発行しました！

経済産業省北海道経済産業局は、「節電・省エネ事例“虎の巻” Vol.3～節電・省エネの成果を上げている取組をご紹介します！～」を発行しました。

本書は、平成25年から発行している「節電・省エネ事例“虎の巻”」シリーズの第三版として、新たに追加した8件を含む63件のエネルギーコスト大幅削減を実現した工場・事業所等の事例をご紹介します。

○掲載内容：

北海道内の工場・事業所等における節電・省エネに関する取組の概要を、導入コストや削減効果とともに紹介しています。(A4版・68頁)

○入手方法：

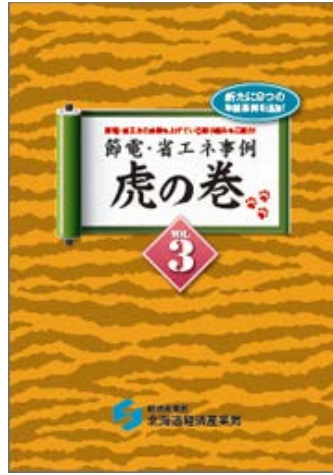
本冊子をご希望の方は、北海道経済産業局エネルギー対策課にて無料で配布します。

郵送をご希望の場合は、FAX又はE-mailにて、郵便番号、住所、企業等名、氏名(宛先)、電話番号、必要部数を明記の上、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※ご提供いただいた情報は、本資料送付の目的以外には一切使用いたしません。

なお、本冊子は以下のURLからダウンロードもできます。

[http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/setsuden\\_book/s\\_book.pdf](http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/setsuden_book/s_book.pdf)



最大電力削減の取組をご検討の方は、以下の『事例集』をご覧ください。

経済産業省北海道経済産業局では、北海道内の企業・団体等が取り組んでいる、最大電力削減の取組事例のご紹介も行っています。

詳細は、以下のURLからご参照ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokne/setsuden/index.htm>

※「省エネ 虎の巻」でも検索できます。

<問い合わせ先>

北海道経済産業局 資源エネルギー環境部エネルギー対策課

TEL：011-709-2311 (内線2635～2638) FAX：011-726-7474

E-mail：hokkaido-energy@meti.go.jp <担当：エネルギー対策課>

エネルギーに関する実験セットの貸出し事例  
 ～滝川市の中学校環境教育講座で実験セットを活用～

1. 日時：平成28年2月10日(水) 13:15～15:05
2. 場所：滝川市立開西中学校(屋内体育館)
3. 主催：滝川市
4. 概要：

東日本大震災により日本全体がエネルギー問題に直面したことを背景として、滝川市市民生活部から支援課の職員2名が講師となって、北海道経済産業局の実験セットを活用しながら、省エネルギーや再生可能エネルギーの有効利用の大切さに気付く、エネルギー問題について自ら考えるための「きっかけ作り」のほか、新校舎となった開西中学校が、高効率照明の導入や自然エネルギーの有効活用など、省エネルギー性能が高い校舎であることを、1年生2クラス(当日出席50名)を対象に説明しました。



★エネルギーに関する実験セットの貸出し方法、条件等の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokns/lend/index.htm>

<担当：総合エネルギー広報室>

「実践！おうちで省エネスマホアプリ」をリニューアル！

経済産業省北海道経済産業局では、ご家庭で簡単に取り組める省エネ術や節約効果(金額、CO<sub>2</sub>排出量)が具体的に分かる機能等を盛り込んだスマホアプリを無料配信しています。この度、毎月の光熱費を記録することによりグラフで推移が確認できる機能や、ゲーム感覚で省エネについて学ぶことができる機能を新たに搭載しました。

是非ご活用頂き、ご家庭の省エネ・節電の取組にお役立てください。

※本アプリは、Google Play及びApp Storeから、無料でダウンロードできます。

「おうちで省エネ」と検索してください。

※詳しくは、以下のURLをご参照ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/h27ouchi/index.htm>

<担当：総合エネルギー広報室>

